



思索駆動コース
福田 海優

みなさん、このような経験はありませんか？



他にも.....

- ・追加料金が隠されている
- ・選択しにくいボタン
- ・キャンセルの手順が複雑
- ・重要事項が把握しにくくしてある
- ・自動的に課金がおこなわれている

ダークパターンであることを認識しにくく、不利益を被っても「自分が操作を間違ったからだ」などと思い、指摘することが難しい場合も多いかもしれません。

これらはダークパターンと呼ばれるデザイン手法です。

ダークパターンとは、Webサイトやアプリケーションにおいてユーザーの意図に反して多くの時間やお金を使用させる、または注意を払うように作られたユーザーインターフェースのことです。このダークパターンを利用することは短期的な利益につながっても、長期的にはWebサイト、アプリの信用を失うものです。

Webサイト・アプリの 利用者

Q1 どうしてDark Patternsに騙されてしまう？

1 Webでの購買・契約はひとり

ECサイトでの購入やサブスクリプションの登録は、個人のPCやスマホで行い、UI画面に従って迅速に行われるため、自分が意図していない決定を強いられていることに気づかない。

2 作成側の巧妙なテクニック！

ダークパターンを使用するデザイナーや開発者は、市場において顧客獲得や利益を最大化させることを目標に、重要な情報を複雑にすることでユーザーを都合の良い決定に誘導したり、利用者の行動を分析して選択肢やデザインを工夫します。また、新しい技術の登場や発想の工夫により、誘導やひっかけの手法は日々進化します。

3 情報の多さ！

Web上での契約や購買では、サービスの利用に関する条件や商品やサービスに関する詳しい情報など、読まなければならない事項が多く提示されます。しかし、それらの膨大な量の文章のすべてを読みこみ、網羅的に理解することは困難です。

Webサイト・アプリの 制作者

Q2 どうしてDark Patternsを利用してしまう？

1 利益の追求のため

ユーザーに対する分かりやすい説明や、購入・同意の場面におけるダークパターンを見直し、改善しても制作者側の利益の向上には繋がりにくいです。また、サイト制作者（デザイナーなど）は、UXを考える際にユーザーが使いやすいような配置に誘導するデザインを考えます。同様に、利益を追求するあまり、ダークパターンと気づかないうちに選択肢や解約、購入の方法を複雑にしたデザインを使ってしまっていることもあります。

2 問題意識

利用者からの指摘を受けることが少ない現状があります。

3 コストの低さ

ダークパターンでは、解約の手順を複雑にしたり、選択肢を複雑にしたり意図的に感情を操作するような文面を用いることで利用者の選択を誘導することもあります。これらのダークパターンを用いて利用者の選択のミスや見過ごしにより利益を得ることは低いコストで実現することができてしまいます。

過程

無意識のうちに自分の判断を捻じ曲げられたくない！

ダークパターンの手法や特徴を知り、購買・契約においてダークパターンを積極的に指摘していける機会が必要！

オープンダークパターンとは

利用者を騙して利益を得るようなデザイン手法に対して、利用者や制作者の双方の視点から議論や指摘をすることでWebでの契約や購買をより分かりやすく、公正にすることを目指す活動です。

名前の意味

名前は、「ダークパターンをオープンにする」というところからオープンダークパターンと名付けました。ダークパターンを日本語にするのが難しく、ダークパターンや詐欺といった、弱みを上手に利用するものに問題意識を持ち、社会全体として意識していきたいという思いを込めています。

ロゴ

シンプルさと親しみやすさを意識しています。

オープンダークパターンの活動

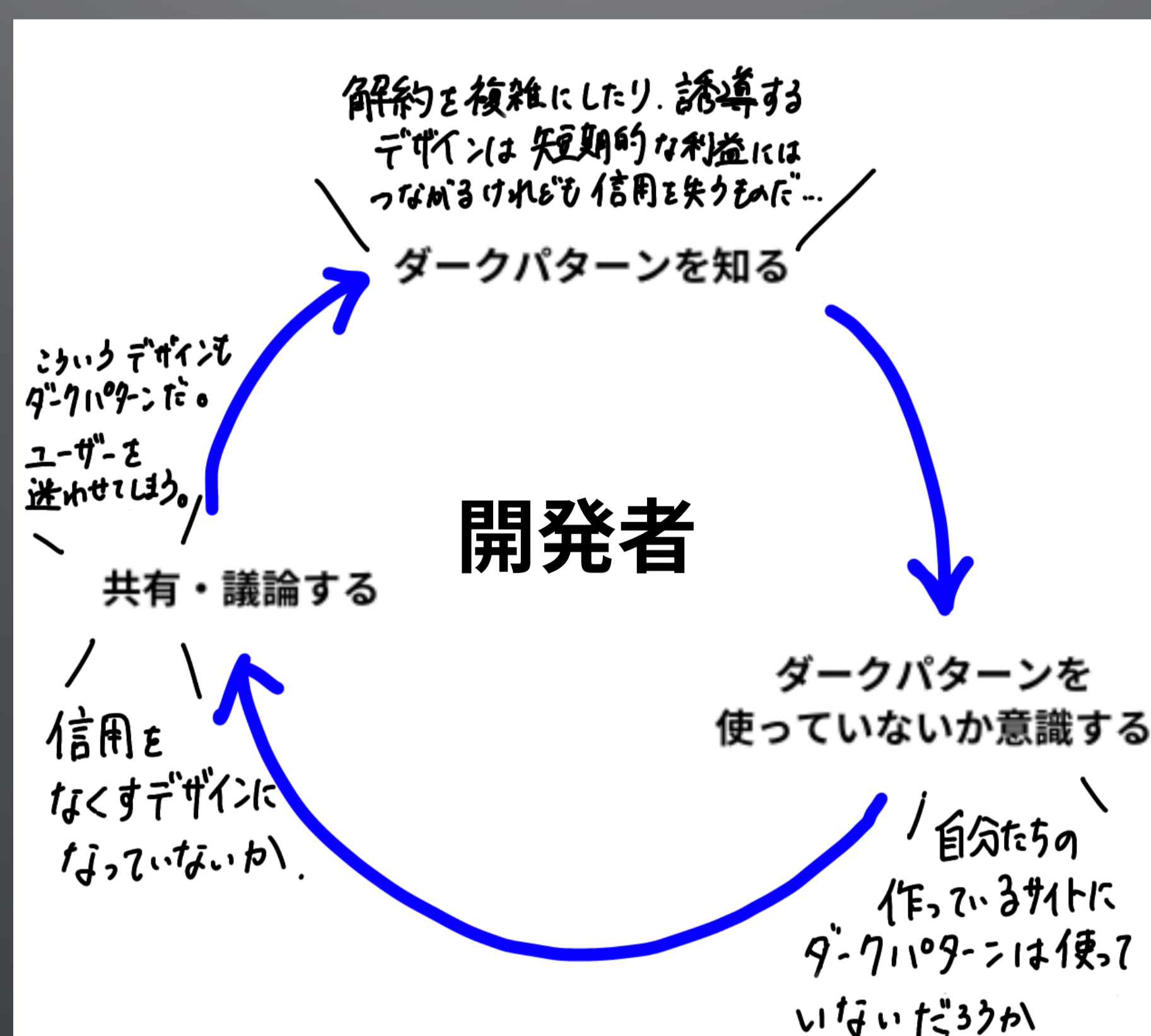
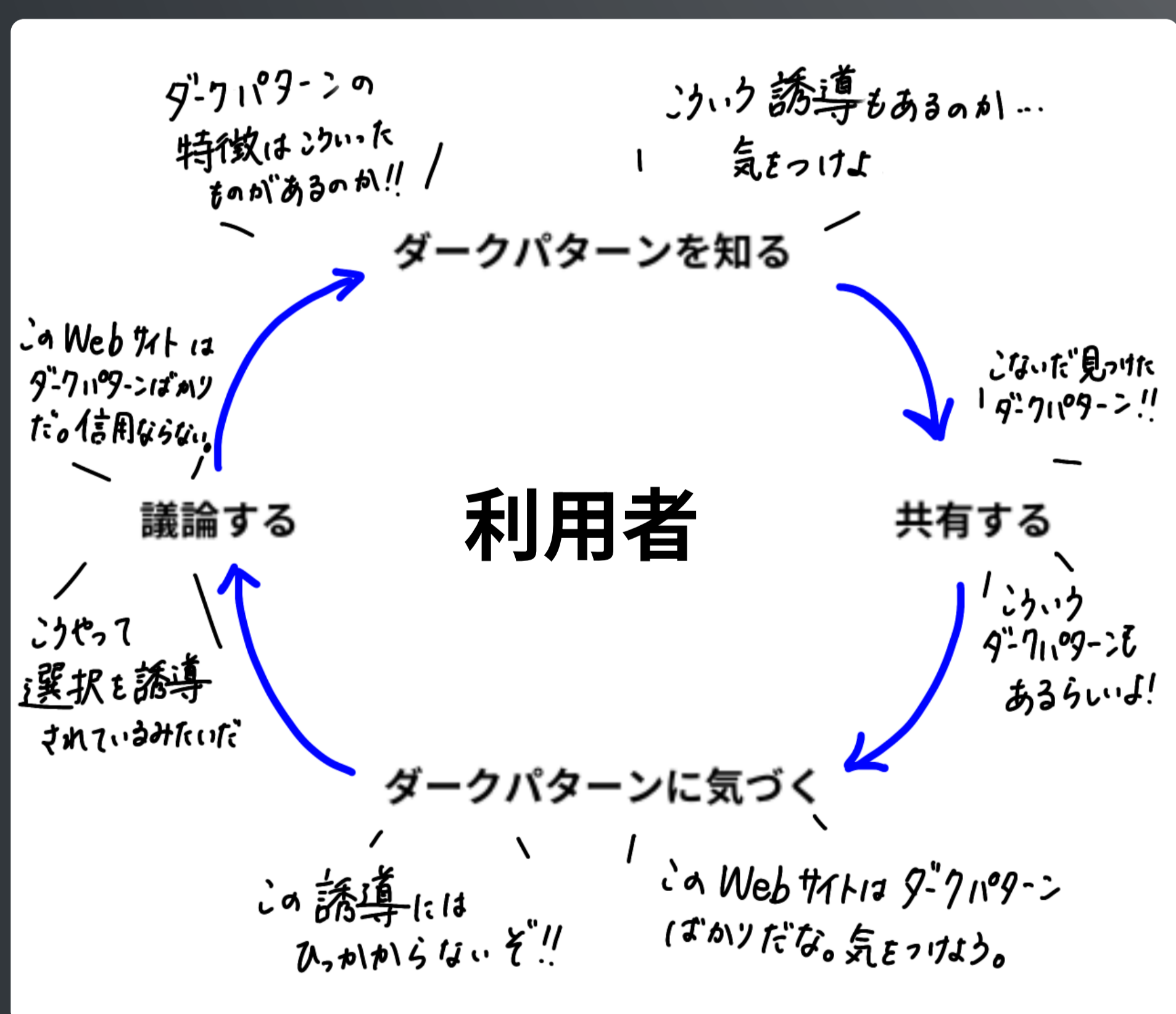
デザイナーや開発者自身も知らず知らずのうちに利用者の行動を操作するようなUIになっていないか、確認する機会となり、倫理的な設計が進み、利用者との信頼・Web業界の信頼の向上につながることを目標に、カンファレンスや情報発信を目指しています。

オープンダークパターンの活動が広まったら....

ダークパターンを用いたユーザーインターフェースを利用者側が判断できるようになれば、ダークパターンによって自分の選択を誘導されることもなくなり、Webでの契約・購買における不当な被害を減らすことにつながります。Webサイト・アプリの制作者も、信用を損なわないように公正で安全な取引を目指すようになります。

今後の展望

このサイトを軸に、Dark Patternsに関する情報提供や新たなDarkPatternsの手法の共有や議論をおこなえる空間にすることで、SNS・開発者やデザイナーが意見を交わしやすいようなカンファレンスにつながっていきます。



オープンダークパターン (Webサイト)

ダークパターンを詰め込んだECサイトでダークパターンの特徴や手法を体験できれば、実際にオンライン上で購買、契約をするときに自分が意図していない行動を強いられた場合に気づくことができます。

ユーザー自身がWebサイトやアプリケーションにおいてダークパターンに気づき、信用性を判断したり、不正な手法や詐欺から防衛できるような場所を目指します。



使用技術/言語: Next.js, TypeScript, Azure

この1年間で思索駆動コースでの各々の視点からテーマに対して知見を共有し合うLTや、作品に対するポスター制作・動画制作という形でアウトプットをおこなってきました。私は、一年を通して着目するテーマが変わっていき、その時々で受けるフィードバックや新たな知見は自分自身の考えの幅も、表現の仕方も一年前とは明らかに良い方向に変化しました。このオープンダークパターンに関して、まだまだこれから進めていくものですし、SecHack365で話し合ったこと、新しく得た知識、表現の仕方を活かしつつ、自分ができるサイバーセキュリティに対するアプローチをしていきたいと思えます。

たくさんの方の刺激を受けた思索駆動コースの皆さん、様々なフィードバックや知見を共有してくださったトレーナー・アシスタントの皆さん、様々な視点とものづくりに対する情熱を持つトレーナーの皆さん、このSecHack365を運営してくださった関係者の皆さん、ありがとうございました！



感謝を込めて Sea10

X: @10derSea